希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんやボランティア活動に役立つ情報などをお待ちしています。「さがしています」「がんばろう」「伝言板」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

さがしています

△岩手県▽
☆紫波町の森越（旧姓岩井）久美香さん（42）へ
弟の東京都足立区の岩井剛さん（40）が捜しています。森越さんは約10年前まで岩手県久慈市に住んでいました。8年前から数年間は、コンビニ「サンクス」の店長をしていました。「地震発生2、3日後にメールを送りましたが返信がありません。電話（070・5455・4251）をください」

△宮城県▽
☆石巻市川口町1の及川幸八さんと石巻市の尾形孝雄さん（ともに60歳くらい）へ　アルゼンチン・ブエノスアイレスの増田ユキエさん（80）と息子のロベルトさんが心配しています。ロベルトさんは日本にいた時に2人と知り合い、及川さん宅に遊びに行き、泊まったことがあります。及川さんと尾形さんは遠洋漁業をしていて、アルゼンチンに寄港した際、増田さん宅に遊びに来ました。ユキエさんのめいで愛知県岡崎市の中根さん宅（0564・22・0811）に連絡してください。

☆旧本吉町山谷の熊谷伸亮さん（50歳くらい）へ　友人の埼玉県狭山市の岩切是充（よしみつ）さん（60）が捜しています。約20年前、東京都三鷹市の日本無線の同僚でした。熊谷さんの実家は神社で、退職して後を継ぎ、約3年前にお父さんが亡くなった後は宮司をしていました。現在、気仙沼市になっているようですが、今年の年賀状は「本吉郡本吉町山谷」でした。「家も神社も高台でしたが、電話が通じません。自宅（04・2959・6219）に連絡ください」

がんばろう

気象予報士
森田正光さん

東京・赤坂サカスの中央に滝桜があります。この桜は、福島県三春町の「三春の滝桜」の子孫樹です。樹齢1000年以上といわれる三春の桜は東日本大震災でもびくともせず、今、咲き誇っています。先週23日、気象予報士の仲間たちと地震に耐えた桜を見てきました。

ただ、震災の影響で毎年30万人を超すという花見客が激減しているようで、地元の旅館などはキャンセルが続出し、困っています。復旧の第一は、できるだけ早く日常を取り戻すことです。今週いっぱい見ごろというので、ぜひお花見を楽しんでいただきたい。行くというだけでも観光業の復興支援につながります。

また、被災した福島県の小名浜港を私自身訪れ、陸に乗り上げた船からの魚や油のにおいを体感してきました。

今回の大震災では風評被害の恐ろしさも知りました。誤った偏見から逃れるには、正確な情報と科学的知識を持つほかありません。今後も気象予報士として予測可能な自然災害をいち早く発信し、気象災害の軽減を目指していきます。

みつかりました

▽14日掲載の宮城県多賀城市八幡、諸井しげ子さんと家族は無事でした。25日、東京都葛飾区の村田立子さんも電話がありました。自宅は住める状態になく、近所にアパートを借りて暮らしているそうです。村田さんは「元気でいることがわかり、うれしくて泣いてしまいました」と話しています。

伝言板

▼カレンダー送ります　横浜市南区の事務用品店「エッグス文化堂」は、今年のカレンダー約50冊を無料で被災者に提供します。皇室カレンダーや日めくり、予定が書き込める細長い柱掛けタイプ、若くして亡くなった米国の俳優ジェームス・ディーンの写真ものなどです。担当の大内克己さん（56）は「被災した方や支援団体にも必要ではまとめて送れるとありがたいです。希望者は店（045・252・7601）にご連絡ください」

▼料理教室で教えませんか　東京近郊に避難している料理が得意な東北地方のお母さん方に、東京都千代田区神田須田町で料理教室を主宰する村山桜子さんが、「一緒に料理教室を開きましょう」と呼びかけています。月1、2回、イベントとして一般の女性約10人に教える計画です。キッチンや調理道具、材料、エプロンはすべて用意します。年齢は問いません。「郷土料理や手作りみそ、漬物や梅干しなどの保存食といった、家庭料理を教えてください。みんなでおいしいごはんを食べて少し元気になれれば。希望者はアートマルシェ神田（03・6206・9600）にご連絡ください」

サポート情報

～東日本大震災～

26日現在

労働・雇用

■労働者向け

震災で離職を余儀なくされた被災者らが、ハローワークの求人情報を利用して遠隔地（鉄道で往復300キロ以上）で就職のための面接や見学をする場合、「広域求職活動費」（基本的に交通費や宿泊費の全額補助）が支給される。また就職や、就職前に遠隔地の職業訓練学校で受講することが必要な場合も、移転にかかる費用が支給される。

問い合わせは最寄りのハローワーク。

■経営者向け

経営者が経済的な理由で事業活動を縮小し、従業員の雇用維持のために休業手当を出す場合、雇用調整助成金（大企業は3分の2、中小企業は5分の4）が利用できる。また、震災で事務所が壊れ事業を休止する場合、雇用保険の特例で従業員に失業手当を支給する制度もある。

問い合わせは最寄りのハローワーク。

■中小企業融資

岩手、宮城、福島の3県が被災した中小企業のため、災害復旧の設備資金や経営安定の運転資金などに利用できる融資制度を創設した。県内の銀行や信用金庫、商工中金に申し込む。

△岩手県▽限度額1000万円で期間は10年以内。利率は3年までが年1・7％以内、3年超10年までが年1・9％以内。信用保証料は県が全額負担する。県経営支援課☎019・629・5542。

△宮城県▽限度額は1000万円で期間は10年以内。利率は年1・0％以内。信用保証料は条件によって異なり、年0・45～1・59％。県商工経営支援課☎022・211・2744。

△福島県▽限度額800万円で期間は10年以内。利率は条件により年1・5％以内か1・7％以内。信用保証料も条件により年0・05～1・05％。県金融課☎024・525・4019。

■出張労働相談

岩手、宮城、福島の3県労働局が失業や労災、未払い賃金の立て替え払いなどに関する出張相談会を開いている。

△岩手県▽27日＝グリーンピア三陸みやこ（9～17時）、長栄館（10～14時）、ホテル加賀助（10～14時）▽28日＝陸前高田商工会仮事務所（11～14時）、ホテル花巻（9時半～16時）

△宮城県▽27日＝志津川中（11～15時）▽28日＝七ケ浜町中央公民館（10～12時）、七ケ浜国際村（13時半～15時半）

△福島県▽27日＝三春町民体育館（9時半～11時半）、三春の里（13時半～15時半）▽28日＝旧おじま小（13時半～15時半）

給付・貸付

■義援金

岩手、宮城、福島3県の一部市町村が受給申請の受け付けを始めた。罹災（りさい）証明書の他に預金通帳や印鑑、本人確認が可能な書類などが必要（自治体によって違う）。受け付け中、または開始予定の主な自治体と申請場所は次の通り。

△岩手県▽
◆野田村　住民福祉課で受け付け中。
◆宮古市　27日＝津軽石小、津軽石中、赤前小、旧愛宕小白浜分校▽28日＝崎山小、鍬ケ崎小、宮古二中▽29日＝グリーンピア三陸みやこ、田老総合事務所、重茂漁協▽30日＝花輪農村文化伝承館、磯鶏小、河南中▽5月1日＝宮古小、山口小、藤原小▽2日＝金浜老人福祉センター、宮古市民総合体育館シーアリーナ、愛宕小（いずれも13～18時）。3日以降は市役所1階が窓口になる。
◆大船渡市　27、28日＝リアスホール、大船渡地区公民館、旧花菱縫製工場▽29日＝大船渡北小体育館、末崎ふるさとセンター、崎浜公民館▽30日＝大船渡北小体育館、末崎ふるさとセンター、宮野多目的集会施設▽5月1日＝大船渡中体育館など▽2日＝下船渡公民館など▽3日＝南笹崎公民館など▽4日＝赤崎中井公民館（いずれも9時半～15時）。市役所は4日から受け付け。

△宮城県▽
◆仙台市　市役所本庁舎と各区役所、宮城総合支所、六郷市民センター、七郷市民センターで受け付け中。9時～16時半。5月までは土日祝日も対応する。4月29、30日、5月1日のみ宮城野体育館、岡田小でも受け付ける。郵送での申請は、市社会課義援金担当へ。
◆岩沼市　5月15日まで、市役所6階第1会議室で受け付ける。
◆大崎市　社会福祉課、または、各総合支所保健福祉課で5月9日から受け付け予定。平日のみ。

△福島県▽
移転した住民が多く、自治体の窓口のほか、郵送での申請も受け付けている。申請書は郵送での取り寄せや、自治体のウェブサイトからのダウンロードもできる。
◆南相馬市　原町三小体育館で9～17時。窓口は28日まで◆相馬市　市役所分庁舎1階社会福祉課で8時半～17時◆広野町　町役場湯本支所で8～18時◆楢葉町　各避難所で受け付け。町外に自主避難中の被災者は災害対策本部☎0242・56・2155へ◆富岡町　各避難所で。町外に自主避難中の被災者は災対本部☎0120・336・466へ◆川内村　ビッグパレットふくしまCホールで9～17時◆大熊町　郵送などで受け付け◆双葉町　郵送などで受け付け◆浪江町　二本松市役所東和支所の仮町役場災害給付班で8時半～17時

■弔慰金

災害救助法に基づき、東日本大震災で亡くなった人の遺族に自治体から災害弔慰金が支給される。犠牲者が生計維持者の場合が500万円、その他は250万円。負傷などで重度の障害を受けた被災者にも災害障害見舞金（生計維持者は250万円、その他は125万円）が支給される。受け付け開始が確認できた市町村は次の通り。

△岩手県▽釜石市▽遠野市▽大船渡市（※申請場所は義援金受給と同じ）

△宮城県▽仙台市▽石巻市▽東松島市▽塩釜市▽多賀城市▽七ケ浜町▽山元町▽岩沼市▽名取市▽気仙沼市▽登米市

△福島県▽いわき市

子ども

■絵本

ヤフーは被災地の子供たちに安らぎを届けようと、サイト「ヤフー！きっず　えほんの自由図書館」（shinsai.yahoo.co.jp/ehon）で絵本を無料配信している。ごろごろ▽いないいないばぁ！▽たっち▽まほうのおさら▽はらぺこかいじゅうクイシンボーヤ▽プーさんとはちみつのゆめ▽ライオン・キング　エピソード1▽ドレイクきょうじゅの天体教室▽ドナルドのラブラブものがたり▽ポケモンのゆめの世界のおはなし「ある夜の夢」――の10作品、携帯でもうち5作品が読める。今後入れ替えや追加も行う予定。ダウンロードしてメールで送ったり、印刷できる作品もある。

米軍兵士と交流する児童ら＝宮城県石巻市の貞山小で26日午前10時39分、小林努撮影

■おもちゃ

NPO法人日本グッド・トイ委員会と、同法人が運営する「東京おもちゃ美術館」（東京都新宿区）は27日から、岩手、宮城県内の避難所におもちゃ箱を届ける。国内外の玩具メーカーなどからミニカーやぬいぐるみ、積み木など約1万点が同NPOに寄せられており、おもちゃ箱に詰めて100セットを用意。美術館スタッフらでつくる「あそび支援隊」が避難所を回って届け、子供の遊び場作りやおもちゃを通じた心のケアに役立てる。

住宅

■民間借り上げ

仮設住宅の整備が遅れる中、岩手、宮城、福島の3県は民間住宅を借り上げ、被災者に提供している。広さや家賃など一定基準に基づいた住宅を、被災者の希望とマッチング。県が不動産業者と契約し、家賃を負担する（光熱水費は本人負担）。入居は原則2年間。

被災者が今回の地震後に自ら契約した場合も、一定基準を満たしていれば県との賃貸契約に切り替えることができ、その後の家賃が不要になる。岩手県は切り替え前に本人が支払った家賃も、県がさかのぼって負担する。問い合わせは各市町村へ。

福島県の一部市町村は、民間借り上げ住宅の募集期限が迫っている。福島市＝30日まで☎024・525・3757▽郡山市＝5月10日まで☎024・924・2633▽浪江町＝30日まで☎090・1710・8468▽葛尾村＝28日まで☎0242・83・0271

■雇用促進住宅

厚生労働省は、独立行政法人雇用・能力開発機構が所有する雇用促進住宅を、無料で提供している。即入居可能または修繕後に入居可能な物件は、岩手県1920戸▽宮城県618戸（21日現在）。家賃、敷金、駐車場は無料で、光熱水費や共益費は本人負担。入居は6カ月ごとに最長2年まで（13年3月末まで）更新できる。問い合わせは各市町村へ。

医療

△岩手県▽27日に診療を予定している主な医療機関は次の通り（余震、停電などで変更の可能性あり）。県立久慈、県立宮古、県立釜石、県立大船渡、せいてつ記念、国立釜石、釜石のぞみ、三陸、盛岡赤十字、奥州市総合水沢、久慈恵愛、一関、岩泉

△宮城県▽外来受診の対応はほぼ通常どおり。診療を制限している病院は次の通り。**診療時間短縮**＝石巻港湾（9～12時）、猪苗代（9～12時、14～16時）、大友（7～12時、13時半～15時半）、気仙沼市立本吉（8時半～11時半、13時半～16時）、公立志津川（仮診療所で8時半～11時、14～16時）▽**かかりつけ患者のみ**＝仙南中央、仙塩総合、南浜中央（仮診療所で精神科のみ平日9時半～11時半、前日までに要予約）、石巻市立（仮診療所で9～11時、13時～15時半）、気仙沼市立（内科、消化器科。急患には対応）、東北公済宮城野（処方のみで8時～11時半）▽**重症のみ**＝石巻赤十字▽**診療不可**＝石巻市立雄勝、恵愛

△福島県▽受け入れを制限している主な病院は次の通り。**救急受け入れ制限**＝福島南循環器科、池田記念、田口、公立相馬総合、いわきのすべて（総合磐城共立、福島労災を除く）▽**診療科制限**＝鹿島厚生（内科、外科のみ）、渡辺（内科、外科、整形外科のみ。外科は月火水金、整形外科は月水金）、大町（内科、消化器科、循環器科、整形外科、小児科、口腔外科。外科は金と土午前のみ。いずれもかかりつけ患者優先）、南相馬市立総合（内科、外科）▽**かかりつけ患者のみ**＝星総合（小児科のみ外来診療実施）▽**軽症外来と処方箋のみ**＝小野田

その他地域の情報は県地域医療課（☎024・521・7221）へ。

△茨城県▽救急医療情報システムで案内☎029・241・4199

その他

■郵便

郵便局会社は26日、岩手県陸前高田市に陸前高田郵便局の仮店舗を設置し、通常の窓口業務とATM（現金自動受払機）サービスを始めた。同市高田町鳴石の車両型郵便局でサービスをしていたのと同じ場所。郵便窓口は9～17時、ATMは9時～17時半。☎0192・55・2335。

また沿岸部の被災地に配置している車両型移動郵便局15台の27日の予定は次の通り（いずれも11～14時）。

△岩手県▽
陸前高田市広田町大久保地区▽長洞公民館▽大槌高▽山田町立山田南小▽日向アパート集会所▽旧釜石商高避難所

△宮城県▽
石巻市立寄磯小▽泊コミュニティセンター▽洞源院▽女川町総合体育館▽南三陸町ベイサイドアリーナ▽七ケ浜町中央公民館▽多賀城市文化センター▽名取市立第一中▽山元町立山下中

■歯科巡回診療

岩手、宮城の県歯科医師会が沿岸地域の避難所を中心に巡回診療を実施している。入れ歯の相談にも応じる。

△岩手県▽27日＝豊間根中、吉里吉里小（いずれも10～12時、13～15時）、グリーンピア三陸みやこ（10～12時、14～16時）▽28日＝山田南小（10～12時）、織笠小（14～16時）、赤浜小（10～12時、13～15時）。診療可能な歯科医院の問い合わせは県歯科医師会☎019・621・8020

△宮城県▽避難所など3カ所に移動診療車を配置して診療する。診療時間は9～16時。山元町役場隣、南三陸町ベイサイドアリーナ、石巻口腔健康センター。29日以降のゴールデンウイーク中も継続。問い合わせは県歯科医師会☎022・222・5960

△福島県▽被災地域での歯科治療の相談は各地域の歯科医師会へ。県☎024・523・3266▽いわき☎0246・27・8620▽相馬☎0244・46・2244▽会津若松☎0242・25・2611。在宅診療の相談は在宅歯科医療連携室☎024・523・3268

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000（9～19時）
福島県警　0120・510・186（9～19時）

●交通機関
JR東日本　050・2016・1600（6～24時）
JAL（国内線）　0570・025・071　（7～20時）
ANA（国内線）　0570・029・222

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86
（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力　0120・175・366

●医療
＜放射線被ばく相談＞
▽文部科学省健康相談ホットライン
0120・755・199（9～21時）
▽放射線医学総合研究所相談窓口
043・290・4003（9～21時）
＜人工透析＞
▽岩手県　県健康国保課　019・629・5471
▽宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111
（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221

＜その他＞
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談　0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会　0120・755・745（平日13～16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（平日10～19時）
福島県弁護士会　024・534・1211（平日14～16時）
日本司法書士会連合会
0120・445・528（平日10～16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565
（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916
（13～22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン0120・99・7777（月～土16～21時）
（18歳までの子ども向け電話相談）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888
（10～16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島、茨城4県対象）

＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁　※平日のみ
住宅の補修・再建（国交省）0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）　0120・707・118※

●金融機関など　※平日のみ
岩手銀行　0120・064・626※
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　0120・877・562
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫0120・154・505（土日0120・220・353）
そんがいほけん相談室（日本損保協会）
0120・107・808または03・3255・1306
地震保険契約会社照会センター　0120・501・331※
生命保険相談所（生保協会）　03・3286・2648※
災害地域生保契約照会センター　0120・001・731※

■移転した役所と連絡先■

＜岩手県＞
陸前高田市　エコタウン鳴石　☎0192・59・2111
釜石市　シープラザ釜石　☎0193・22・8253
大槌町　大槌小学校　☎0193・42・2111

＜宮城県＞
女川町　女川第二小学校　☎0225・54・3131
南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ
☎0226・46・2600

＜福島県＞
広野町　FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場　☎0246・43・1331
楢葉町　会津美里町本郷庁舎　☎0242・56・2155
富岡町　郡山・ビッグパレット☎0120・336・466
川内村　郡山・ビッグパレット☎024・946・8828
大熊町　会津若松市追手町第2庁舎
☎0242・26・3844
双葉町　旧埼玉県立騎西高校　☎0480・73・6880
浪江町　二本松市東和支所　☎0243・46・4731
葛尾村　会津坂下町・川西公民館
☎0242・83・2651

★双葉郡支援センター　☎0120・006・865
福島県双葉郡の上記8町村から避難した住民に連絡を呼び掛けている。8～22時。

希望新聞

声 被災地から

岩手

伊藤多喜雄さん

5年前から野田村で創作活動を続ける民謡歌手の伊藤多喜雄さん(60)「創作活動で村を訪れると、いつも近所の人が野菜や魚を差し入れてくれた。震災後は僕が村に物資を運んで炊き出しを行い、皆さんを応援しています。炊き出しの列の前で僕がソーラン節を歌い、村の中学生に踊ってもらったら、機材の調子が悪くて伴奏が途絶えてしまった。そのときに自然と手拍子がわく。それが野田村の良さ。絶対に復興できると信じています」

海水につかった理容店の営業を再開した宮古市黒田町の田沢利憲さん(65)「津波で洗面台の上まで水につかり、父の代からの店を閉じることも考えました。電動椅子、温水器、洗濯機、バリカン、みんな壊れたのに、3色のサインポールだけ電気が来たら回ったんです。まだ仕事やれって意味なのかな、そいじゃやってみるか、と。設備も業者の厚意で安くなりました」

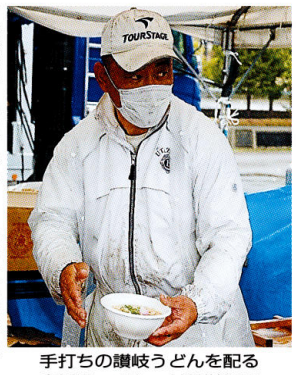
「ここまで津波の水につかった」と説明する田沢利憲さん＝古賀亮至撮影

宮城

南三陸町の「県志津川自然の家」に避難しているペンション「オーイング」パティシエの長嶋涼太さん(33)「救援物資の中にあった材料を使って、ホットケーキ80人分を作りました。震災後初めて白衣に袖を通すと、気持ちの中でスイッチが入りました。自分の仕事はお菓子作りなので、うずうずしていました。食べた人が『涼太さんのお菓子おいしかったね』と言ってくれてうれしかったです」

避難所の人にホットケーキを作ったパティシエの長嶋涼太さん（右）＝垂水友里香撮影

女川町総合運動公園の避難所で、讃岐うどんの炊き出しをする「白川うどん」（香川県善通寺市）代表、白川洋一さん(46)「被災地の力になれればと思い、今月17日から25日まで、手打ちで当日仕込んだ讃岐うどんの炊き出しを女川町や石巻市で行いました。寒い日が続いています。少しでも温まって、復興への活力としてください。被災者の方に『おいしかった』と声をかけていただき、こちらが逆に力をもらっています」


手打ちの讃岐うどんを配る白川洋一さん＝村松洋撮影

料理が楽しい

昨年2月に廃校になった旧石巻市立大原中学校の体育館に避難する三浦朋実さん(15)＝写真右＝と渥美楓さん(11)「避難所の皆さんにマーボー豆腐やみそ汁、クレープなどを料理するのが楽しいです。愛犬の『空』も癒やし役で笑顔にしてくれます。でも、トイレに苦労しているので、水道がある元の生活に戻りたいです」

福島

福島市飯坂町のホール「パルセいいざか」で妻や義理の兄夫婦らと避難生活する南相馬市の阿部豊記さん(74)「自宅が原発から約30キロにあり、近所では店も営業しておらず生活ができません。会議室の床にアルミシートと毛布を敷いて寝ていますが、体が痛くて。孫たちは岩手県にある長男の妻の実家に避難し、家族バラバラです」。義兄の横山正四さん(74)「今後の生活はどうなるのか。いらだちが日増しに大きくなります」

阿部豊記さん（中央）、横山正四さん（右端）一家＝桐野耕一撮影

福島市飯坂町のホール「パルセいいざか」で避難生活を送る南相馬市の坂井フクさん(82)「津波が来たため、何も持たず自宅から逃げました。家は無事でしたが警戒区域の中にあり、一時帰宅しても大きなものは持ってこられません。できれば衣服を取りに帰りたい」。一緒に避難生活する南相馬市、石川喜代子さん(81)「自宅は津波で床上まで浸水しました。警戒区域で片付けもできず、家屋の一部が腐っていれば建て替える必要があるかもしれません」

坂井フクさん（左）と石川喜代子さん＝桐野耕一撮影

郡山市のイベント会場「ビッグパレットふくしま」に避難している富岡町小浜、大工、横田稔さん(58)「東京電力の補償金ではずっと生活できそうにないので、12日から（沿岸部の）浜通りでがれき撤去の仕事を始めました。車で片道2時間半かかるけど、仕事をすると気持ちがさっぱりします。政治家は政策を争うより、早く事態を収拾するよう全力を挙げてほしい。放射線で仕事が無くなったが、帰ったら地元復興のために腕を振るいたい」

家族で避難生活を送る（左から）横田稔さん、長男裕一さん、妻美恵子さん

ボランティア

即席喫茶でコーヒー提供 安らぎを被災者に

高島一則さん

北海道函館市などでコーヒー店を営む高島一則さん(44)は、「被災者に温かい飲み物と安らぎを」とエスプレッソメーカーを積んだ軽自動車「くまカフェ号」で避難所を回り、即席喫茶店を開設。被災者らに自家ばい煎のコーヒーを振る舞っている。

くまカフェ号は3年前、高島さんがキャンペーンイベント用に仕立てた特装車で、キッチンや発電機も設置されている。「これなら被災地に迷惑かけることなく、皆さんにサービスができる」と3月20日から1人で車に寝泊まりしながら被災地を回った。1週間程度で2500杯を無料で提供し、補給のために北海道に戻ってはまた被災地に向かう生活を続けている。

紙コップには、高島さんが経営するコーヒー店近くの小学生らが応援メッセージやイラストを書き込んだ。被災者のほっとした表情を見ると自分にもエネルギーが湧いてくる。

活動内容はインターネットのブログやツイッターでも発信。被災者から「来てほしい」というリクエストも寄せられるほか、米カリフォルニアの喫茶店からコーヒー豆を寄付したいという申し出もあった。また「コーヒー代の足しにしてください 伊達直人」という現金5万円が添えられた手紙が店に届くなど、支援の輪は広がっている。高島さんは「コーヒーとともに多くの人たちの気持ちも届けたい」と話している。

メッセージを入れた紙コップの提供や物資の支援は高島屋珈琲銀座通り店（☎0138・22・6114）。【山田泰蔵】

Q&A

Q 避難所生活でペットと共存するには？ A ルールを作って、その徹底を

日本動物愛護協会など4団体でつくる緊急災害時動物救援本部の吉野功さん(39)に聞きました。

被災した飼い主のペット動物の大半は、避難所の周辺や車の中などで世話されています。持ち込める避難所が多くないからです。動物の毛によるアレルギーがあったり、鳴き声や臭いを嫌う人もおり、あつれきの原因にもなってしまいます。

現代ではペットは家族の一員として認識され、日常でも家族共通の関心事です。普段から安らぎとする人も多く、つらい状況が続く避難生活ではなおのこと、心の支えや復興への励みになります。余震が続くなどペットにとっても慣れない環境ではストレスを抱えて、ほえることも多くなりがちです。しつけが重要になってきますが、長く一緒にいたり、たくさん頭をなでてあげるだけで動物も落ち着きます。

飼う人と飼わない人が共同生活を送る上で、避難所にルールを作り、飼い主がそれを徹底することが大事です。特に、毛の清掃、ふん尿の始末など衛生面を配慮すべきです。飼わない人も不徹底があれば飼い主に注意し、努力している人には理解を示すといった互いの歩み寄りが必要です。

避難所付近の広い場所（校庭や駐車場など）にテントを張り、一時的な専用保護所を設ける動きも一部で始まっています。近くにあれば利用してください。【岸本桂司】

次の災害への備え 必要

遠くの被災地より

北海道南西沖地震（93年）を経験した北海道大地震火山研究観測センター助教 定池祐季さん(31)＝札幌市

北海道・奥尻島で暮らしていた中学2年の時、北海道南西沖地震を経験しました。自分の家は無事でしたが、津波で友達の家が流されました。道路には木材などが押し寄せていました。今回の被災地も、奥尻の風景と重なり、本当に見るのがつらかったです。

私は防災教育や被災地の復興について研究しています。身内を亡くした奥尻のあるおばあさんが「自分が津波のことを伝えていたら家族が助かったかもしれない」と話すのを聞いたことがきっかけです。次の災害に備えることが必要だと思い、研究に取り組んでいます。

今回もそうですが、津波では行方不明の方が大勢出ます。残された家族が気持ちの整理をしながら生活再建に向かうのは、とても大変なことで、細やかな心のケアが必要になります。また、街の再建場所とか、地域の将来について、被災した人たちがじっくり話し合って、自分たちで決めたと実感できる仕組みが必要だと思います。

私は駆け出しの研究者ですが、被災地に対して何ができるかを考え、奥尻の経験で役立つことは伝えていきたいです。

先の見通しが立たないのが一番つらいことです。失われた生活や思い出を少しでも回復することと、将来への希望につながるものを準備することが、被災者の方の力になると思います。前を向いて歩けるよう、絶望してしまわないよう、私も微力ながらお手伝いしていきます。

【聞き手・野田武】

ミニニュース

■東北応援のお取り寄せ　セコムの食品通販サイト「セコムの食」は、東北6県の生産者による米や畜産品、総菜などを紹介する「東北応援特集」（www.secomfoods.com/info/tohoku/index.asp）を26日に開設した。担当スタッフが現地で安全性などを確認した約30社の計50品目を取り上げ、震災後に寄せられた生産者のメッセージも掲載している。

■プロミスが無利息融資　消費者金融のプロミス（本社・東京都千代田区）は被災者に向け、10万円を上限に無利息で融資をしている。融資の拠点はこれまで仙台市のみだったが、25日から盛岡市▽札幌市中央区▽宇都宮市▽東京都港区、渋谷区▽横浜市西区▽千葉市中央区▽さいたま市大宮区▽大阪市中央区、北区の計10カ所を追加した。融資条件は、①それまでの融資額が貸金業法で定められた総量規制（年収の3分の1）を超えていない②被災の事実や本人確認ができる――など。貸し付け後1年間は無利息だが、それ以降は年利7・9％が生じる。☎0120・24・0365

■主な国内線の運航状況■

27日の運航予定は次の通り。

＜花巻空港＞
羽田便＝3往復（29日から2往復）▽伊丹便＝4往復▽新千歳便＝2往復（28日まで）。いずれも日本航空

＜仙台空港＞
羽田便＝日本航空2往復（28日まで）▽伊丹便＝日本航空2往復（29日からは3往復）、全日空は2往復▽新千歳、中部へ全日空が各1往復

＜山形空港＞
羽田便＝日本航空4往復（29日からは2往復）▽伊丹便＝日本航空5往復（29日からは4往復）、全日空2往復▽中部便＝全日空1往復▽新千歳便＝日本航空2往復、北海道国際航空1往復（29日から2往復）

＜福島空港＞
新千歳便＝2往復▽伊丹便＝5往復。いずれも全日空

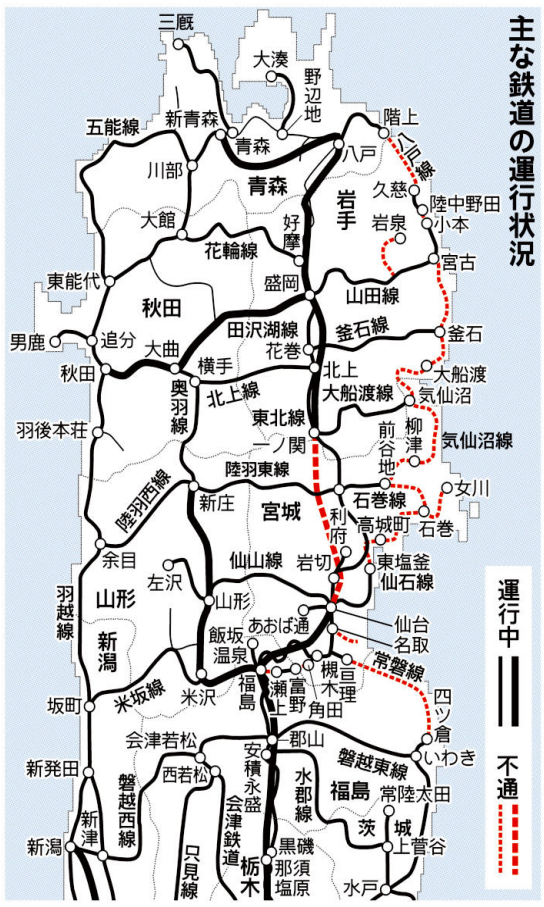
■主なバスの運行状況■

＜岩手県北バス＞☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行
＜岩手県交通＞☎019・654・7755
盛岡と釜石、大船渡、陸前高田を結ぶ長距離バスなどを運行
＜ミヤコーバス＞☎022・771・5310
仙台―気仙沼、仙台―石巻などを運行
＜仙南交通＞☎022・242・1234
仙台空港―ＪＲ仙台駅前で直行バス運行
＜仙台空港鉄道＞☎022・707・2235
仙台空港―ＪＲ名取駅で代行バスを運行
＜福島交通＞☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
高速バスは全路線で復旧

災害ＦＭ局

	MHz
＜岩手県＞	
ラヂオもりおか（盛岡市）	76.9
奥州エフエム（奥州市）	77.8
ＦＭ　Ｏｎｅ（花巻市）	78.7
カシオペアＦＭ（二戸市）	77.9
みやこさいがいエフエム（宮古市）	77.4
おおふなとさいがいエフエム（大船渡市、陸前高田市）	78.5、80.5
かまいしさいがいエフエム（釜石市）	86.0
＜宮城県＞	
ラジオ３（仙台市青葉区）	76.2
ｆｍいずみ（同泉区）	79.7
エフエムたいはく（同太白区）	78.9
ほほえみ（岩沼市）	77.9
ＢＡＹ　ＷＡＶＥ（塩釜市）	78.1
ラジオ石巻（石巻市）	76.4
Ｈ@！ＦＭはっとエフエム（登米市）	76.7
けせんぬまさいがいエフエム（気仙沼市）	77.5
けせんぬまもとよしさいがいエフエム（同）	76.8
おおさきさいがいエフエム（大崎市）	79.4
なとりさいがいエフエム（名取市）	80.1
やまもとさいがいエフエム（山元町）	80.7
わたりさいがいエフエム（亘理町）	79.2
おながわさいがいエフエム（女川町）	79.3
＜福島県＞	
ＦＭポコ（福島市）	76.2
ＳＥＡ ＷＡＶＥ ＦＭいわき（いわき市）	76.2、77.5
ＦＭきたかた（喜多方市）	78.2
ＦＭ愛's（会津若松市）	76.2
エフエムモットコム（本宮市）	77.7
郡山コミュニティ放送（郡山市）	79.1
そうまさいがいエフエム（相馬市）	76.6
みなみそうまさいがいエフエム（南相馬市）	79.5
すかがわさいがいエフエム（須賀川市）	80.7
＜茨城県＞	
ＦＭぱるるん（水戸市）	76.2
ＦＭかしま（鹿嶋市）	76.7
ラヂオつくば（つくば市）	84.2
ＦＭひたち（日立市）	82.2

主な鉄道の運行状況



■主な鉄道の運行状況■

●新幹線
＜東北新幹線＞東京―仙台、一ノ関―新青森で運行。仙台――一ノ関は29日再開し、全線開通
＜山形新幹線＞全線（東京―新庄）で運行
＜秋田新幹線＞盛岡―秋田で運行。29日に全線（東京―秋田）で再開予定

●ＪＲ在来線
＜東北線＞全区間で運行
＜仙石線＞東塩釜―高城町は５月下旬再開予定
＜石巻線＞前谷地―石巻は５月中旬再開予定
＜気仙沼線＞前谷地―柳津は29日再開予定
＜常磐線＞上野―いわきの特急は28日に再開予定

●その他
＜三陸鉄道北リアス線＞宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
＜仙台市地下鉄＞29日に全線再開予定。富沢―台原は運行
＜阿武隈急行＞福島―瀬上は28日再開予定。槻木―角田と富野―瀬上で運行

■県外からのボランティアを受け入れている地域■

県外から被災地へのボランティアの受け入れ状況は次の通り。特記のない限り、宿泊場所や交通手段の提供はない。問い合わせをする前に災害ボランティアセンター（ＶＣ）のウェブサイトなどで情報確認を。電話の問い合わせを受け付けていないＶＣもある。

＝個人参加も受け付け＝

＜岩手県＞
沿岸被災地では直接県外からの個人ボランティアの受け入れが難しい地域が多いため、内陸部の盛岡市や遠野市からボランティア送迎バスで現地に派遣している。

◆盛岡市発着
・岩手県社協☎019・637・9711　大槌町や山田町などへのバスを随時運行。近日中に５月上旬の募集をホームページに掲載する
・盛岡市社協☎019・651・1000　５月４、５日に野田村にバスを出す。同市三本柳のふれあいランド岩手を６時半、盛岡駅マリオス１階正面を６時50分に出発、18時半ごろに戻る。がれきの撤去、運搬、泥だし、家財道具の移動などの予定。事前申し込みが必要。各日先着40人

◆遠野市発着
・遠野市ＶＣ「遠野まごころネット」☎0198・62・1001　陸前高田市や大船渡市、大槌町などへボランティアを毎日派遣。同ネットのホームページから申込書をダウンロードし、参加希望日前日15時半までにメールかファクスで登録する。体育館で宿泊可（寝袋等が必要）。当日は７時半に遠野市総合福祉センターに集合して出発、18時ごろ戻る。活動先・内容は当日決定

＜宮城県＞
・石巻市ＶＣ☎0225・23・6015　事前連絡が必要。テントサイト有り。駐車場が手狭なため乗り合わせで
・岩沼市ＶＣ　個人は電話問い合わせは極力控え、ホームページで情報確認を。現地ＶＣでの受け付けは８時半から。８人以上の団体は事前連絡（080・5949・7541）が必要

＜福島県＞
・相馬市ＶＣ☎0244・36・7827　土日祝日のみ。ブログで確認し、事前に電話連絡が必要
・南相馬市ＶＣ☎0244・24・1877　当日９時に市社会福祉協議会正面玄関で受け付け。事前に電話確認が必要

＝団体のみ受け付け＝

＜岩手県＞
・宮古市ＶＣ　県外からは土日のみ、10人以下の団体を募集。５月14日以降のみ空きあり。ホームページで活動内容や条件を確認し、１週間前までにメールで申し込む
・釜石市ＶＣ、野田村ＶＣ　岩手県社協（019・637・4466）で受け付け
・大船渡市ＶＣ、陸前高田市ＶＣ　遠野まごころネット（0198・62・1001）で受け付け

＜宮城県＞
交通渋滞や、駐車スペースの確保が難しい地域が多いため、県災害ＶＣは、希望者や団体が自らボランティアを募ってバスを手配する「災害ボランティアバスパック」での参加を呼び掛けている。バス１台につき20人以上。活動先の決定は一任。問い合わせは同ＶＣ☎022・266・3952
・気仙沼市ＶＣ☎080・5949・7475　バスパックでの参加のみ
・東松島市ＶＣ☎0225・83・5001　５人以上の団体のみ。事前連絡が必要
・亘理町ＶＣ☎090・6853・1097　県外からの受け付けは４月末まで。テント村あり（要事前確認）